

まちの話題・市民の活躍

豪快なプレーと丁寧なファンサービスで魅了
パナソニック パンサーズ公式戦 in 沖縄市

本市をサブホームタウンとするパナソニック パンサーズが、1月18日、19日に沖縄市体育館で公式戦を開催しました。

日本最高峰のパワフルなプレーを間近で見ようと、こどもから大人まで多くの観客が訪れ、満席の会場は熱気に包まれました。試合は、二日間ともパナソニック パンサーズが勝利を収めました。

試合後には、選手が一齐にパンサーズポーズを披露する等さまざまな趣向を凝らしたファンサービスが行われ、大勢のファンを魅了しました。

1月17日には、選手と関係者等が市長表敬を行い、今シーズンへの熱い意気込みを語りました。

パナソニック パンサーズには、県出身の仲本賢優選手も加入しました。飛躍し続けるパナソニック パンサーズを応援しましょう！



2/9 ソフトバレーボールで
全国交流

本市の姉妹都市愛知県東海市をはじめ、山形県や千葉県、広島県、外国人チームなど、県内外から参加した、全国ソフトバレーボール交流大会が、沖縄市体育館で開催されました。

沖縄市ソフトバレーボール連盟主催による本大会は、今回で20回目。年代別の7つの部に58チームが出場し、時には珍プレーに笑顔を見せながら交流試合を楽しみました。



1/27 3年後の成功目指し、始動!!

2020年秋完成予定の沖縄アリーナで3年後に行われるFIBAバスケットボールワールドカップをどう盛り上げるのか等を考える場として『FIBAバスケットボールワールドカップ2023』の受入体制構築に向けた地域円卓会議が、コザ運動公園で行われ、約70人のバスケットボール関係者や市民等が参加し、さまざまな立場から活発な議論を交わしました。



1/28 小学生を広島東洋カープ
オープン戦に招待

沖縄商工会議所の宮里敏行会頭等が市役所を訪れ、市内の小学生に2月23日にコザしんきんスタジアムで開催される広島東洋カープのオープン戦を観戦してもらおうと、チケット1,000枚を桑江市長に贈呈しました。

宮里会頭は「こどもたちにオープン戦を観戦していただき、さらにファンになってもいい、一緒にまちを盛り上げていきたい」とあいさつしました。



1/30 野球少年たちへのエール

沖縄市建築士事務所会は、市内の少年野球チームのこどもたちに贈るため、2月23日にコザしんきんスタジアムで開催される広島東洋カープのオープン戦の内野席チケット200枚を市教育委員会の島袋秀明教育部長に贈呈しました。

沖縄市建築士事務所会の具志堅達会長は「プロ野球の試合を観戦し、こどもたちに夢や希望を持つてほしい」と思いを語りました。



まちの話題・市民の活躍

1/20

コザ中 駅伝と剣道で好成績

コザ中学校の島村一司校長と女子駅伝チーム、女子剣道部の皆さん等が市役所を訪れ、比嘉教育長へ大会成績の報告を行いました。女子駅伝チームは、12月15日に行われた第27回全国中学校駅伝大会に県代表として出場し18位に入り、これまでの県勢女子最高位を大幅に更新。女子剣道部は、第51回沖縄県中学校新人剣道大会の女子団体の部で見事優勝しました。



1/20

2種目でそろばん日本一

あわせそろばん教室に通う泡瀬小学校5年生の安里颯太郎さん等が市役所を訪れ、12月に埼玉県で行われた全国珠算競技大会そろばんクリスマスカップ2019の小学5・6年生の部、フラッシュ暗算競技と読上算競技で日本一に輝いたことを比嘉教育長へ報告しました。フラッシュ暗算は2年連続3回目、読上算は2回目の優勝で、個人総合でも3位に入賞しました。



2/5

絶え間ない支援に保健文化賞

行政との連携により、若年妊産婦の居場所事業等の地域の母子保健事業に取り組んでいることが認められ、「第71回保健文化賞」(第一生命保険株式会社主催)を受賞した沖縄県助産師会の桑江喜代子会長等が市役所を訪れ、桑江市長等に受賞報告を行いました。桑江氏は「課題はあるが、これからも会員ワンチームで母子保健事業に取り組みたい」と話しました。



1/22

「石原まさし」で演歌歌手デビュー

美里中学校3年生の石原昌徳さん等が市役所を訪れ、3月10日に「石原まさし」の名で演歌歌手デビューすることを桑江市長に報告しました。

石原さんは「デビューさせていただくことになり、これから精一杯頑張っていきます。応援してくれている人達に感謝し、これまで以上に歌を歌うこと等で恩返しをしていきたい」と意気込みを語りました。



皆で防ごう! 冬の感染症



冬季には様々な感染症が流行します。12月下旬から3月にかけては多くの人々が「季節性インフルエンザ」に感染し、例年、県では季節性インフルエンザの警報・注意報が発令されています。また、ノロウイルスによる食中毒も冬季に流行する感染症のひとつです。

さらに、昨年12月に中国で発生した新型コロナウイルス関連肺炎についても国内での発生が報告されています。

このような感染症に「感染しない」、「感染させない」ために、「一人一人の『手洗い』」、「咳エチケット」の実施が重要です。

感染を防ぐために!

- ・食事の前や帰宅後には必ず「手洗い」をする。
- ・バランスのいい食事をとる。
- ・休養を心がけ、しっかり睡眠をとる。
- ・咳エチケットを実行する。

咳エチケット

- ①マスクを着ける。
- ②マスクがなければティッシュで口、鼻を抑える。
- ③どれも無い場合は、口を二の腕で抑える。



感染症予防のため、今できることを、今始めてみませんか?

市民健康課 (内線2243)



2/8 愛も夢も希望も全て音楽に乗せて

障がいのある方が、音楽を通し、社会に参加すること等を目的としたNPO法人サポートセンターケントミ主催の第13回愛音楽祭が、ミュージックタウン音市場で開催されました。

県内外から15組の個人や団体が、歌や三線などを披露し、観客を魅了しました。また、特別ゲストの玉城千春さん(Kiroro)等も歌を披露しました。グランプリのアネラ賞は、レゲエミュージシャンのjahiiさんが受賞しました。

フィナーレでは、毎回恒例で歌い続けている「未来へ」を出演者と観客全員で大合唱しました。

同日、運動企画として神経難病に対するロボット神経工学治療の現状を周知するための「イチヤリバロボットじんぶん教室」が、エイサー会館で開催され、リレートークセッション等が行われました。



1/17 将来への決意と支えてくれた人への感謝

市内の障がい者就労支援施設に通う新成人5人が市役所を訪れ、桑江市長へ二十歳の抱負を伝えました。

Doあわせに通う眞境名幸乃さんは「これからも仲間や友達と一緒に仕事を頑張ります。今までお母さんに心配をかけたけど、これからはいっぱい笑顔を見せていきます」と抱負を発表し、パン工房でいーだに通う新垣良磨さんは「パンづくりを頑張ります」と決意を述べました。



2/2 若者が描くこのまちの未来

沖縄市産業交流センターで、沖縄市青年フォーラム2020が開催され、10代から30代までの約40人の若者が参加しました。

今回のテーマは「沖縄アリーナってナニ? 沖縄市から世界へ繋がる未来はアチココー!」。2020年秋に完成予定の沖縄アリーナの活用方法や解決すべき課題等について、グループディスカッションとグループ発表が行われました。



銀天街へ行こう!!

～沖縄市銀天街地域にある飲食業店舗等をご紹介します～

今回は、銀天街本町通りからスージ道(路地)に入った通りにあるお店をご紹介します。

まずは「雑貨屋ワールド」。

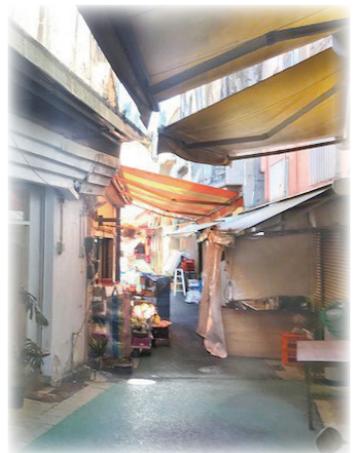
現在は、百円以外の商品も取り扱っていますが、ワールドが百円均一店の先駆けとも言われており、住民には欠かせないお店です。

その他にも、夕方になると常連さんでカウンター席がすぐ埋まる人気の「居酒屋けんけん」や、先月ご紹介した「居酒屋伊礼商店」もありますよ!

さらに「あしびば」武Cというお店もオープンし、より楽しい通りになりますね!

銀天街へ行く際には、ぜひともお立ち寄り下さい!

商工振興課 内線(3225)



1/25

長年に渡り、職種の発展に貢献

25年以上同一職種に従事し、技能の練磨及び後進の育成など、職種の向上発展に寄与した技能者をたたえる「沖縄市技能功労者表彰式」が、沖縄県総合運動公園体育館で行われ、10人の技能功労者が表彰されました。

【被表彰者（敬称略・順不同）】
 玉那覇和男（造園師）、眞玉橋朝栄（とび工）、粟國達成（鉄筋工）、宮里真由美（配管工）、前粟蔵靖（防水工）、新城忍（たたみ工）、福原勝裕（自動車整備工）、比嘉義弘（鍛冶職）、大田至（クリーニング職）、仲眞百百代（音楽家）



2/2

60周年の節目に これまでの感謝とこれからの決意

昭和34年に西里青年会から名称を変えた園田青年会は、令和元年度で創立60周年を迎えました。

その節目を祝うとともに、青年会の発展に尽力していただいた方々に感謝し、青年会の更なる発展を祈念する「園田青年会創立60周年記念式典・祝賀会」を、結婚式場NBCで開催しました。

園田青年会の澤岬幸一郎会長は「無事にこの日を迎えることができたのは、地域の皆さま、諸先輩方、県内外の応援してくれる皆さまのおかげです」とあいさつしました。



活動と絆の輪を広げ続けて受賞

第48回全国老人クラブ大会が、11月26日と27日にさいたま市で行われ、5カ年連続で会員増加を達成し、老人クラブの育成発展に寄与したとして、登川老人クラブが「100万人会員増強運動」表彰を受賞しました。

登川老人クラブでは、平成26年に145人だった正会員が、現在は177人に増加しています。仲宗根盛雄（せいゆう）会長は「これからも自らの心身を向上させるため、百歳体操等を継続しながら、公民館と力を合わせて地域活動を続けていく」と思いを語りました。



1/17

市民を支える良き相談相手 民生委員・児童委員一斉改選

民生委員・児童委員の一斉改選が昨年12月に行われ、その記念事業として、退任者への感謝状贈呈、新任者への委嘱状交付を市民会館中ホールで実施しました。

今回の改選で退任された27人には、桑江市長から感謝状が贈られ、新任・再任の149人には委嘱状が交付されました。任期は令和4年11月までの3年間。

岡本朝子副会長は「みんなで心をつなげて、それぞれの地域に根差した活動をしていきたい」と新たな決意であいさつしました。



今月の身近な集い処

市内各地の、仲間と集まって楽しく活動している場所を紹介します。



今月は、山里自治会での活動をご紹介します。

いきいき百歳・かみかみ百歳・ちゃーがんじゅう体操を月2回行っています。また、体操前には楽しい脳トレを、体操後には絵画教室を行っています。月2回はこの体操、

あとの2回は生き代いに通っている参加者もいて「皆に会って体操をするのが生きがい」という嬉しい声も聞かれます。

みなさんのご参加をお待ちしています♪



活動日時：第2・第4土曜日 10時～
 参加費：無料
 場所：山里公民館（山里1-7-4）
 問合せ：介護保険課（内線 3143）